

学外研修報告(農業機械士養成研修)

フィールド科学系部門 生物生産技術班

日山 薫

1. はじめに (目的等)

西条ステーション(農場)では、トレーラーやマニユアスプレッダー、ロールベアラーをトラクターによってけん引することで飼料作物の収穫等の業務を行なっている。今後、これらの業務にあたるためにけん引免許が必要となるため、広島県立農業技術大学校で行われている農業機械士養成研修を受講し、免許試験を受験した。

2. 期間・場所

期間 : 令和3年9月7日～9月10日、9月13日～9月15日

場所 : 広島県立農業技術大学校、広島県自動車運転免許三次試験場

3. 参加者等

技能講習 14名

免許試験 14名

4. 研修内容

1日目 オリエンテーション・技能講習(トレーラーけん引の基本運転法)

2日目～6日目 技能講習(トレーラーけん引の基本運転法)

7日目 免許試験

5. まとめと感想

技能講習ではトレーラーをけん引した状態での後進法や方向転換、試験コースでの走行法などを中心として練習を行った。

研修を受講してけん引車は運転の難易度が高いと感じた。まず、普通車と比較すると内輪差が大きく右左折時の脱輪を避けるためには大きく回らなければ曲がることができない。また、方向転換時には曲がりたい方向にトレーラーを向けるために、普通車の運転時と反対にハンドルを切らなければならないため混乱が生じ、技能講習の際は複数回の練習が必要であった。今後、実際の業務で運転する際にはさらに練習を重ね、運転技術を高める必要があると考えた。また、常に安全運転を心がけ事故のないように今回取得した免許を業務に活かしたいと考えた。